

地域おこし協力隊募集

■ 中津（なかつ）地区とは…

中津地区は日本百名山の一つ苗場山の雄大な懐に抱かれた清流中津川に沿って点在する14集落460余世帯で構成されています。山々にはブナ・トチといった木々を中心に未だ手付かずの大自然が数多く残るとともに、日本の原風景を偲ばせる石垣で整えられた美しい棚田も広がっています。また雪国独自の風俗・慣習を受継ぐ秘境「秋山郷」は、当地区の穴藤・逆巻・見倉・清水川原・結東・前倉・大赤沢集落の7集落総称で、江戸時代の随筆家・鈴木牧之が「秋山記行」で世にはじめて紹介し、現在では県内屈指の紅葉の名所として人気の高い観光スポットとなっています。

■ 地区の将来像

地区の将来像を描き住み良い地域づくりを真に実践していこうと平成28年4月「中津地区振興協議会」が発足しました。現在33人の推進委員を中心に廃校した旧中津小学校の利活用の検討、地震など災害時に備えた高齢者支援マップづくり、古くから当地域に伝わる「からす踊り」などの伝統芸能保存活動（中津地区盆踊り大会）等に精力的に取り組んでいます。今後も協議会を中心に地域住民一丸となって脈々と受け継いできた伝統文化や風土等を大切に守りつつ、かつ「苗場山麓ジオパーク拠点整備事業」など新たな地域振興策を取り入れながら、より一層安心して暮らせる地域づくりを将来にわたり目指していきます。

■ 隊員を必要とする理由

地域に山積する様々な課題を解決するためには、やはり「マンパワー」が必要不可欠です。しかしながら当地域でも少子高齢化・過疎化、限界集落化といった地方を容赦なく襲う人口流失・減少といった社会の荒波には抗えず、新たな地域振興策を実践するにしても、地区住民だけでは数的にも質的にも「人のチカラ」が絶対的に不足してきています。そこでいま！ 私たちの中津地区には、斬新な発想と新鮮な感覚で！ 情熱溢れるエネルギーと行動力で！ 私たちと一緒に英知をしばり！ とともに額に汗して働き！ 地区の振興と発展にご協力頂ける「そう！ いま！ あなたの！ チカラ！」が必要！なのです。

■ 行事活動



芋植え



秋の芋ほり



秋の収穫感謝祭

■ 世話人



※左から富澤会長、高橋副会長、田中副会長

■ 隊員に期待する具体的な活動

- ① 中津地区振興協議会事務・苗場山麓ジオパーク拠点整備事業※（旧中津小学校利活用）補助及び施設管理（屋内清掃・草刈り・畑作物管理等）
- ② 中津地域の各種観光資源を生かした誘客事業の企画・立案及び観光案内
- ③ 「ごっつお市（特産品市）」と連携した特産品販売
- ④ 中津地区振興協議会HP新規立上げ・管理及びフェイスブック制作
- ⑤ 地域イベント（中津地区盆踊り大会・中津地区収穫祭等）運営補助
- ⑥ 機関紙「中津んしょ」発行に係るサポート活動（写真撮影等）
- ⑦ 高齢者世帯見守り活動及び買い物代行・移動サービス支援
- ⑧ 交流サロン（中津地区住民憩いの場）の創設・運営等
- ⑨ 蛍の集う水辺環境整備

※地域住民一体となった保全活動とジオパークを教材とした体験型の環境教育や防災教育を実践する場所です。

■ 隊員住居

- 地区内の空き家を斡旋予定

以上、たくさん皆さんに期待する活動を列挙いたしました。この中からあなたの得意なこと、やりたいことと照らし合わせて、まずは一緒に活動を考えていきましょう！